



2026 年 10 月 5 日
一般社団法人日本化学工業協会

日化協 LRI 第 15 期研究課題の募集について

一般社団法人 日本化学工業協会(住所: 東京都中央区、会長: 橋本 修(三井化学(株)代表取締役会長)、以下「日化協」)は、第 15 期「日化協 LRI(長期自主研究活動)」の支援対象となる研究課題を 10 月 6 日(火)から 11 月 6 日(金)の期間で募集いたします。日化協が指定する 5 つの研究テーマに対する提案依頼書(RfP: Request for Proposal)による研究課題の募集とし、採択課題には 1 件あたり 1 年間最大 1,000 万円の助成を行います。

※LRI: Long-range Research Initiative(長期自主研究活動)

化学物質が人の健康や環境に及ぼす影響に関する長期自主研究活動(LRI: Long-range Research Initiative)は、国際化学工業協会協議会(ICCA: International Council of Chemical Associations)の主導のもと日米欧 3 極が連携して進めている化学業界の自主的活動で、日化協では 2000 年より本格的に取り組んできました。これまで、OECD など国際的なガイドラインへの提案や政府が行う研究プロジェクトに LRI の研究成果が活用されるなど一定の効果をあげてきております。

一方、化学物質を取り巻く環境は、化学品管理規制の整備・強化や化学物質の安全に関わる新規課題の発現など、常に目覚ましく変化しています。日化協では社会のニーズや業界が抱える課題の解決に向けた具体的な研究に絞った LRI を推進し、第 14 期(2026 年 3 月～2027 年 2 月)を迎えた現在は、計 11 件の研究課題が LRI によって進められています。日化協 LRI では、第 6 期の募集から研究内容がより世の中のニーズを反映し、その成果が社会に貢献できるように、研究課題のテーマとその範囲を予め明記して募集する提案依頼書(RfP)での募集を行っています。

化学業界は、事業活動による社会への貢献に加え、LRI による研究の支援・推進を通じ、地球環境や人々の暮らしを守り、持続可能な社会の構築に向けた使命を果たしてまいります。

<RfP 指定テーマ>

- (1) NAMs(New Approach Methodologies)/動物実験代替法の開発
- (2) ヒトへのばく露に関する予測手法の開発
- (3) 環境に対するリスク評価に関する研究
- (4) 新規な課題を解決するための評価法の開発
- (5) 規制利用における課題を解決するための評価法の開発

<研究課題募集の詳細>

- ・ RfP の背景や研究範囲に関する詳細は、LRI ウェブサイトの「研究者の皆様向け⇒研究募集」([第 15 期日化協 LRI 研究募集案内](#)) をご覧ください。

【参考資料】第 15 期日化協 LRI 研究課題募集要項

《本件に関するお問い合わせ先》

一般社団法人日本化学工業協会 広報部 TEL: 03-3297-2555

〒104-0033 東京都中央区新川 1-4-1 住友不動産六甲ビル 7 階 <https://www.nikkakyo.org/>

